

6/21

お寺で学ぶ 年長児交流保育

こども園の年長児交流保育事業で、園児たちが福塚の玉泉寺を訪れました。園児たちは最初に玉泉寺に展示してある「地獄絵図」を見学し、住職の門原信典さんが紙芝居「小僧さんの地獄めぐり」を迫力ある語り口で園児



たちに読み聞かせていました。紙芝居の後は座禅の体験を行い、園児たちは慣れない座禅に苦戦しながらも、静かに姿勢を正し、呼吸と心を整えようとしていました。

6/20

建設業協会から 図書購入費のご寄付

日南町建設業協会から日南町に対し、図書購入費が贈られました。贈呈式では、協会を代表して川田嗣男会長から中村町長に寄付金が手渡されました。日南町建設業協会は、郷土図書や地域振興に役立つ図書を購入してほしいと、平成8年から毎年図書購入費として寄付をくださっており、今年も建設業協会のみなさんの想いが本を通して届けられます。



6/5

7/3

石見分団が西部操法大会優勝&県操法大会第3位！



【出場団員】(敬称略) ★は優秀番員
指揮者 班長 長尾 昌博★
1番員 団員 森田 正明★
2番員 団員 嶋川 善也
3番員 団員 木口 聖司★
4番員 団員 高橋 公基
吸管補助員 団員 高埜 幸彦 (西部大会)
内田 敦郎 (県大会)

6月5日に第63回鳥取県西部消防ポンプ操法大会が開催され、ポンプ車の部に石見分団が出場し、出場した4隊の中で見事優勝しました。これは平成以降では初の快挙です。さらに、優秀番員として、日南町消防団から3人が表彰されました。

また、7月3日には第68回鳥取県消防ポンプ操法大会にも出場し、出場した6隊中第3位という好成績を収めました。惜しくも優勝には届きませんでした。上位の分団にも全く引けをとらない抜群の操法を披露しました。石見分団はこの大会のため、4月から柳生肇分団長による指揮のもと厳しい訓練を重ねてきました。石見分団のみなさん、ご家族をはじめ応援していただいたみなさん、本当にお疲れ様でした。



6/25

尾木ママ流共感子育て講演会



「尾木ママ」の愛称で親しまれ、数多くのテレビ番組等で活躍中の教育評論家・尾木直樹さんによる「尾木ママ流共感子育て講演会」が総合文化センターさつきホールで開催されました。この講演会は日南町こどもゆめ基金事業として行われたものです。尾木さんは「『共感』とは、相手の気持ちを察することであり、子育てには『共感できる力』が大切」と話され、コロナ禍やデジタル社会における子どもたちの体と心の健康といった、現代社会に即した話題を交えて講演されました。講演会には約150人の観客が訪れ、熱心にメモを取りながら尾木さんのお話に耳を傾けていました。



6/23

6/24

モンゴル ゾーンモド市議会が来町

日南町が平成30年から友好交流を行っているモンゴル国ゾーンモド市議会の訪問団が3年ぶりに来町されました。訪問団のみなさんは、23日には福万来の坪倉昌さん・京子さん夫妻の農園でブロッコリーの収穫体験をしたり、福塚の白谷工房(代表・中村建治さん)で寄木細工のアクセサリ作りの体験をしたりされました。翌24日には役場庁舎を訪れて中村町長・山本議長と会談し、美術館で開催されていた赤木真理さんの書道展を見学後、榎オロチの工場を見学し、帰路に就かれました。



赤木真理書道展

書家・赤木真理さん(宮内)の初めての個展が、6月10日から6月26日まで日南町美術館で開催されました。初日の10日にはオープニングセレモニーとともに赤木さんによる作品解説が行われました。

この個展は、赤木さんが昨年の第8回日展に初入選したことを記念したもので、日南町で初公開となった入選作品のほか、書家として活動を始めた20代後半の作品から新作まで、約40点の作品が展示されました。



6/12

鮎釣り名人たちが集う！ 瀬田CUP開催

日南の水を守る会(水谷秀樹会長)が主催する、「大西満杯記念第2回日野川鮎友釣り選手権瀬田CUP」が生山地内の日野川で3年ぶりに開催され、全国から集まった86人の参加者が腕を競いました。

大会は予選と決勝が行われ、予選の上位14人で争った決勝の結果、7尾を釣り上げた岡山県真庭市の龍野勝教さんが、第2回目の優勝者となりました。



6/16

大きくなあれ！りんご袋掛け体験

阿毘縁にある林富實代さん(下阿毘縁)のりんご園で、日南小1年生と5年生が合同でりんごの袋掛け体験を行いました。袋掛けは、病害虫からりんごを守り、着色や貯蔵性を良くするために行う作業です。児童たちは林さんに教わりながらピンポン玉大に育ったりんごに次々と袋を掛けていました。この日は1年生と5年生がペアになり、5年生が1年生に教えてあげながら作業していました。参加した児童は、「5年生が優しかった」「難しかったけど楽しかった」と感想を話していました。



「日野郡ウチまち化プロジェクト」始動！

日野郡の若者たちに、日野郡を自分の「まち」として捉えてもらい、地方自治について興味を持ってもらうことを目的として、「日野郡ウチまち化プロジェクト」が昨年11月に発足しました。このプロジェクトは日野郡3町の若手職員が企画・運営を行っており、昨年度は5回の会議を開きました。6月には郡内の中学生・高校生を対象として、「将来どんな町になってほしいか」「若者のイベントがあるとしたらどんなイベントに行きたいか」などといった項目のアンケートを実施し、約200件の回答がありました。現在はこのアンケート結果を参考に、今後の取り組みを検討中です。



「日野郡ウチまち化プロジェクト」メンバー
写真右上：日野町 谷口智佳子 主任
右下：江府町 山根 幸大 主事
左上：日南町 景山波留声 主事